

平成 26 年 建設技術研究開発評価委員会 <議事要旨>

日時：平成 26 年 8 月 5 日（火）10：00～11：30

場所：中央合同庁舎 3 号館 1 階共用会議

出席者（五十音順、敬称略）：

加藤信介、神田順、清水英範、本橋健司、安田進、山口栄輝

議事：

- ・ 総合技術開発プロジェクト課題の事前評価について

配布資料：

資料 1 総合技術開発プロジェクト課題について

資料 2 「3 次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」
説明資料

資料 3 「公的賃貸住宅及び地域居住支援機能の戦略的ストックマネジメント技術の開発」
説明資料

資料 4 評価書とりまとめスケジュール（案）

議事要旨：

平成 27 年度の新規要求課題候補について事前評価を実施するため、外部有識者会議を開催した。委員からの主な意見は以下のとおり。

①「3 次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」

- ・ 屋内測位の基準点（基準点の役割を果たす機器）の位置の正確性が担保されるように取り組まれたい。
- ・ 研究期間中に実証実験を行い、モデルケースを示すことを考慮されたい。
- ・ 民間において既に技術開発が行われていることから、国が主導的に技術開発を行うべき部分を明確し、民間との適切な役割分担の下、実施されたい。

②「公的賃貸住宅及び地域居住支援機能の戦略的ストックマネジメント技術の開発」

- ・ 社会保障や各地域の福祉等の制度、地域独自の住宅施策等、地域の実情に応じて計画・評価でき、かつ地方公共団体が実務に活用できる手法の開発に取り組まれたい。
- ・ 公的賃貸住宅の役割を整理して実施されたい。
- ・ 建物本体の評価と合わせ、宅地についての必要な評価も含めた仕組みとされたい。